

事後評価書

箇所名	神菌地区		事業名	砂防等事業	課名	河川・砂防課
事業概要	工期 (下段当初)	平成11年～平成20年	全体事業費 (下段当初)	811百万円(負担区分:国1/2、県1/2)		
		平成11年～平成15年		1,040百万円(負担区分:国1/2、県1/2)		
事業目的及び内容	<p>①場所 三重県伊勢市神菌町地内</p> <p>②事業目的 当該地すべりにより、地すべりの頭部で滑落崖が発生したり、県道沿いのブロック積擁壁の亀裂が見られたり、県道の側溝が圧縮されて損傷が見られたりするなど、地すべりの兆候が見受けられた。 このため、大規模な地すべりからの人家や道路の保全、河川への地すべり土塊流入防止などを目的として、地すべり対策事業を実施した。</p> <p>③被害想定 地すべり土塊の滑動、河道閉塞による上流への湛水、堆積土砂決壊による下流への氾濫</p> <p>④保全対象 人家5戸、県道伊勢南島線、一級河川宮川、橋梁3箇所、耕地</p> <p>⑤事業内容、事業量 ・集水井工+集水ボーリング工+排水ボーリング工：2箇所 ・横ボーリング工：6箇所 ・アンカー工：3箇所 ・抑止杭工：1箇所 ・河川護岸工+洗掘防止工：1箇所 ・水路工：1箇所</p>					
1・事業の効果	<p>①対策後の斜面状況 工事完了後1年間の地すべり変位観測の結果、地すべり活動の収束判断基準である累積変位量6mm/年を下回り、地すべり活動は収束している。 なお、事業完了後も、平成23年7月には最大日雨量253mm、総雨量414mm、同年9月の台風12号時には最大日雨量322mm、総雨量428mmを経験した(いずれも川口観測所)が、当初見受けられた道路の変状などは確認されていない。 対策工の効果により斜面は安定し、人家や県道などが保全されている。</p> <p>②費用対効果 費用対効果の分析 $B/C=1.12 > 1.0$</p> <p>③ ②以外のその他の効果 ■山地森林保全効果 地すべり危険区域内の山地森林保全効果が見込まれる。 ■交通途絶による迂回損失の防止(県道伊勢南島線) 重要路線である県道伊勢南島線の安全性が確保され、交通途絶による迂回損失が防止される。 ■波及的效果 人家の安全性が確保され、長期避難による住民の精神的苦痛が軽減される。</p>					

2 ・ 事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	
<p>(1) 環境への配慮と実施後の状況 切土・盛土のような大きな地形改変を伴う工法は行わず、生態系等の環境への影響を抑えた。</p> <p>(2) 景観に対する配慮と実施後の状況 県道沿いに施工したアンカー工は、アンカー間に植栽を行い景観に配慮した。</p>	
3 ・ 事業を巡る社会経済情勢等の変化	
<p>地すべり土塊到達範囲内にある町営の親水公園宮リバー度会パークは、「三重県緊急輸送道路ネットワーク計画」（平成19年策定）において、東海地震、東南海・南海地震の活動・物資搬送拠点に定められた。このことから、計画策定時と比べ、当地区での地すべり対策の重要性が高くなった。</p>	
4 ・ 県民の意見	
<p>① 県民の意見の徴収方法 対象者：神菌町、度会町の住民 （神菌地区全戸、度会町のうち被害想定区域沿いかつ事業地に近い地区の住民） 調査方法：アンケート方式 調査数：265件 有効回答数：249件 （回収率：94%）</p> <p>② アンケートの目的 アンケートは、本地すべり対策事業の認知度、事業を実施したことによる安心感などを調査し、今後の土砂災害対策に県民の意見を反映することを目的とした。</p> <p>③ アンケート結果の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 58%の方が、神菌地区で地すべりのおそれがあることを認識している。また、63%の方が地すべり対策工事を実施していることを認識しており、本事業の認知度は比較的高いことがわかった。地区別で見ると、神菌での工事実施を認識している方が、神菌地区および川口地区ではそれぞれ89%、78%と高い一方、宮川をはさんで神菌の対岸にある大野木地区、棚橋地区や、神菌から離れている下久具地区では51～63%と比較的低い値であった。 ・ 周辺住民の56%が、神菌地区の地すべり対策工事により安心感が向上したと評価している。 ・ 地すべり対策工事実施後に地すべりの災害が発生していないことや、道路や家が保全されていることなどが、安心感向上の主な理由となっている。 ・ 安心感が向上したとは思えない理由として、「地すべり対策工事の効果がわかりにくい」という意見が多かった。 	
5 ・ 再評価の経緯	
<p>再評価は実施していない。</p>	
6 ・ 今後の課題等	
<p>今後実施する同種事業における留意事項</p> <p>アンケート結果より、事業対象地から離れている地区では事業の認知度が低いことがわかった。地すべりの被害想定区域は広範囲に及ぶことから、情報提供を行う際には広く周知していく必要がある。</p> <p>アンケート結果より、地すべり対策工事の効果がわかりにくいという意見が多いことから、地すべりの仕組みや対策工の役割などを十分に説明する必要がある。</p>	

■事業内容・位置図

